

# 栃木県老連だより

第142号

〈平成28年 7月10日発行〉

栃木いきいきクラブ  
(一財)栃木県老人クラブ連合会

〒320-8503

栃木県宇都宮市駒生町3337-1  
とちぎ健康の森 2階

TEL:028-621-4787

FAX:028-621-4767

単位老人クラブ数 1,695クラブ

会員数 70,729人

発行部数 8,000部

発行 年4回  
(4・7・10・1月)

## 目次

- 関ブロリーダー研修会開催される…… 1
- 県老連の役員等を新たに選出…… 2
- 平成27年度事業報告・決算報告…… 2
- 地域いきいきコーナー…… 4
- 中央セミナー報告・老人クラブ傷害保険・賠償責任保険…… 6
- 市町老連会長及び事務担当者研修会…… 7
- 関ブロリーダー研修会報告…… 8
- 交通安全ミニ白書…… 12
- 寄稿…… 13
- 熱中症…… 14
- お知らせコーナー…… 17
- クイズコーナー…… 17

## 関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会が日光市で開催！〈16年ぶりの本県開催〉



6月30日(木)から7月1日(金)まで、日光市鬼怒川において「平成28年度関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会」が開催されました。

研修会には、各都県政令市から関係者249名が参加、うち本県からは63名が参加し、老人クラブの現状と課題、その解決方策等について熱心に研修しました。

初日の研修会では、全国老人クラブ連合会の河野敦子参事の基調報告に引き続き、テーマ毎に4つの分科会に分かれ、それぞれのテーマについて活発な意見交換が行われました。

2日目には、老人クラブ関係者の表彰式があり、51名の皆さんが関東甲信越静ブロック老人クラブ連絡協議会の増田会長から表彰を受けました。

続いて、各分科会から事例研究・討議結果の報告が行われた後、「世界遺産『日光』とその謎と魅力」という演題で日光市天台宗観音寺住職、千田孝明氏による講演が行われました。

(詳細報告P8～10)

平成28年度第1回理事会・定時評議員会の開催

平成28年度の第1回理事会が5月19日(木)に、同じく定時評議員会が5月26日(木)に開催されました。主な審議・承認議決された事項は、次のとおりです。

- ◎ 第1回理事会
- ① 平成27年度事業報告
- ② 平成27年度収支決算及び監査報告
- ③ 補欠評議員候補者の推薦及び女性委員会委員の選任
- ◎ 定時評議員会
- ① 平成27年度計算書類の承認
- ② 補欠評議員、補欠理事の選任

所属する市町老連等の役員変更に伴い、県老連役員を退任される方、新たに就任される方は次のとおりです。

退任

|     |       |    |    |
|-----|-------|----|----|
| 理事  | 宇都宮市  | 大下 | 又吉 |
| 〃   | 小山市   | 古川 | 榮光 |
| 〃   | 真岡市   | 深谷 | 早苗 |
| 〃   | 大田原市  | 磯三 | 郎  |
| 〃   | 那須烏山市 | 荒井 | 三  |
| 〃   | 下野市   | 橋本 | 正  |
| 評議員 | 宇都宮市  | 井口 | 清  |
| 〃   | 小山市   | 新井 | 幸  |
| 〃   | 真岡市   | 浅井 | 光  |
| 〃   | 大田原市  | 木村 | 章  |
| 〃   | 那須烏山市 | 高田 | 博  |

新任

|      |       |     |     |
|------|-------|-----|-----|
| 評議員  | 下野市   | 曾我  | 祐久  |
| 〃    | 益子町   | 大木  | 栄   |
| 女性委員 | 日光市   | 小杉  | 喜代子 |
| 〃    | 小山市   | 灰野  | 智子  |
| 〃    | 大田原市  | 石井  | 小夜子 |
| 〃    | 下野市   | 柏崎  | とし江 |
| 〃    | 益子町   | 中野  | 千代子 |
| 〃    | 茂木町   | 若色  | 秀子  |
| 理事   | 宇都宮市  | 新井  | 清   |
| 〃    | 小山市   | 浅井  | 幸   |
| 〃    | 真岡市   | 木村  | 二   |
| 〃    | 大田原市  | 高田  | 博   |
| 〃    | 那須烏山市 | 山田  | 博   |
| 〃    | 下野市   | 佐々木 | 英   |
| 評議員  | 宇都宮市  | 佐々木 | 明   |
| 〃    | 小山市   | 諏訪  | 平   |
| 〃    | 真岡市   | 大塚  | 宏   |
| 〃    | 大田原市  | 越井  | 一   |
| 〃    | 那須烏山市 | 野木  | 桂   |
| 〃    | 下野市   | 佐藤  | 善   |
| 女性委員 | 益子町   | 高谷  | 正   |
| 〃    | 日光市   | 尾崎  | 榮   |
| 〃    | 小山市   | 尾崎  | 洋   |
| 〃    | 大田原市  | 増尾  | 子   |
| 〃    | 下野市   | 市貝  | 子   |
| 〃    | 市貝町   | 田辺  | 子   |

平成27年度

主な事業の結果

平成27年度の事業報告・決算報告の概要は、次のとおりです。

◇第27回栃木県老人クラブ大会

9月10日(木)に開催予定だったが、関東・東北豪雨のため中止となった。大会式典で予定していた優良老人クラブへの表彰状の贈呈等は、後日各市町老連を通じて実施した。

※表彰状及び感謝状贈呈

- ① 優良老人クラブ 30団体
- ② 老人クラブ育成功労者 31名
- ③ 県老連活動賞 9団体
- ④ 加入促進運動優良老人クラブ 9団体
- ・クラブ数又は会員数増老連 1団体
- ・10名以上又は20%以上増加 45団体
- ⑤ 広報紙コンクール優良老人クラブ 9団体
- ⑥ 全老連活動賞伝達 3団体

◇県老連大学校

7月〜12月 15日間 58単位  
(総論、組織運営、活動実践、一般教養等)  
とちぎ健康の森ほか(卒業生 27名)

◇県老連スポーツ大会

10月14日(水)  
県総合運動公園球技広場  
(参加者 約800名)

出場チーム数  
ペタンク23、輪投げ58  
グラウンド・ゴルフ26

(計) 107チーム

◇市町老人クラブ連合会長及び事務担当者研修会

6月11日(木)  
とちぎ健康の森 多目的フロア  
(参加者 55名)

- ① 県高齢対策課の事業について
- ② 県老人クラブ連合会事業及び予算等について
- ③ グループ討議「会員増強方策について」

◇市町老人クラブ連合会正副会長等研修会

2月15日(月)  
とちぎ健康の森 講堂  
(参加者 300名)

- 1 県老連重点事業について
- 2 講義

① マイナバー制度の概要について  
県経営管理部行政改革推進室  
小野寺一行氏  
② 栃木県の気象特性と防災気象情報  
の利活用  
気象庁宇都宮気象台  
伊藤準一氏、石森啓之氏

◇第1回女性リーダー研修会

7月22日(水)  
とちぎ健康の森 大会議室  
(参加者 33名)

講演

「老人クラブの歴史と現状、今後の展開」  
全国老人クラブ連合会 総務部長  
谷野 香氏

◇第2回女性リーダー研修会

11月30日(月)  
とちぎ健康の森 大会議室  
(参加者 65名)

平成27年度 収支計算書総括表

(単位:円)

| 科 目         | 予算額         | 決算額        | 差 異         | 備 考 |
|-------------|-------------|------------|-------------|-----|
| 1 事業活動収入の部  |             |            |             |     |
| 基本財産運用収入    | 3,000       | 2,904      | 96          |     |
| 分 担 金 収 入   | 8,115,000   | 8,064,540  | 50,460      |     |
| 補 助 金 収 入   | 8,852,000   | 8,842,879  | 9,121       |     |
| 委 託 金 収 入   | 500,000     | 493,737    | 6,263       |     |
| 配 分 金 収 入   | 600,000     | 600,000    | 0           |     |
| 負 担 金 収 入   | 981,000     | 981,000    | 0           |     |
| 会員章拠出金収入    | 30,000      | 35,000     | △5,000      |     |
| 事 業 収 入     | 4,105,000   | 3,879,735  | 225,265     |     |
| 雑 収 益       | 2,000       | 1,159      | 841         |     |
| 事業活動収入計     | 23,188,000  | 22,900,954 | 287,046     |     |
| 2 事業活動支出の部  |             |            |             |     |
| 事 業 費 支 出   | 20,269,000  | 20,057,648 | 211,352     |     |
| 管 理 費 支 出   | 5,955,000   | 4,549,495  | 1,405,505   |     |
| 分 担 金 支 出   | 751,000     | 750,500    | 500         |     |
| 事業活動支出計     | 26,975,000  | 25,357,643 | 1,617,357   |     |
| 事業活動収支差額    | △3,787,000  | △2,456,689 | △1,330,311  |     |
| 3 予 備 費 支 出 | 14,363,000  | 0          | 14,363,000  |     |
| 当 期 収 支 差 額 | △18,150,000 | △2,456,689 | △15,693,311 |     |
| 前期繰越収支差額    | 18,150,000  | 18,157,324 | △7,324      |     |
| 次期繰越収支差額    | 0           | 15,700,635 | 15,700,635  |     |

①全老連女性リーダーセミナー報告  
②老人クラブの現状と女性リーダーについて

③講演

「金融犯罪の手口と対策」

一般社団法人 栃木県銀行協会

専務理事 山崎浩之氏

◇機関紙の発行 年4回

県老連だより 第137号、第140号

◇広報紙コンクール

広報部会

7月14日(火)

広報部会で応募広報紙を審査

8月4日(火)

第3回正副会長会議で表彰団体を決定

各市町老連を通じて表彰

最優秀賞 フィオーレ和会(さくら市)

優秀賞 3団体、佳作 5団体

◇「社会奉仕の日」の実施

公共施設等の清掃、美化、緑化等  
6月15日(月)(県民の日)

〈参加者 876クラブ／

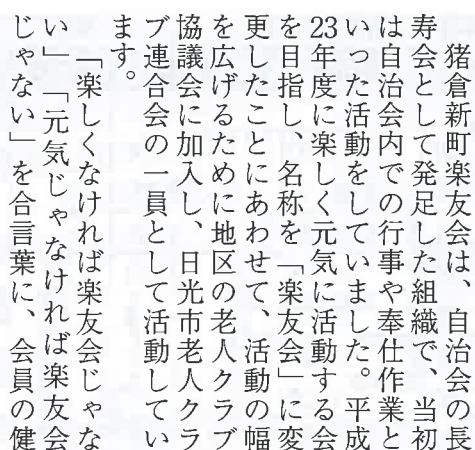
15、719名〉

9月20日(日)

〈参加者 1、023クラブ／

17、460名〉





会長 平田 房男

康増進と親睦を目的とした事業を展開しています。毎週、月・水・金曜日の午前中は公園に集まり、グラウンド・ゴルフを行います。みんなで楽しく集まり、体を動かすことが目的なので、雨天時は公民館に集まってベタンクまたは輪投げを行います。その他、カラオケ・花見会・温泉日帰りの旅・新年会などが主な事業です。

また、社会貢献活動にも力をいれ、自治会内の公園や公民館の清掃・草刈りや猪倉山泉福寺庭園の草取りなどの奉仕作業はもちろん、資源ごみの回収といった活動もしています。資源ごみの回収に關しては、会員の自宅の駐車場の一角を収集場所として、会員はもちろん地域の方にも声をかけ回収をしているので、近隣住民の交流や助け合える関係づくりにも役立つ活動だと考えています。日光市が実施している「資源物回収報奨金制度」に登録し、回収業者に資

源ごみを引き渡すことで得られる報奨金で当会の事業の充実を図っています。その他、小学生の登下校を見守るスクールガードをはじめ、自治会の活動にも積極的に参加・協力しています。

これからも会員の笑顔があふれる、**元氣度、日光一々**の団体を目指すとともに、地域を支える団体としての誇りをもって活動していきたいと思ひます！



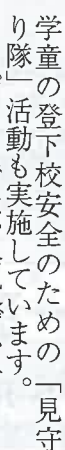
上三川町は、宇都宮市南部に隣接する人口31,000人余の小さな町です。「より安心・安全で活力のあるまち上三川」をキャッチフレーズとする地域です。

今までの上三川町老人クラブ連合会として活動してまいりました。平成26年度総会において、現在の「上三川町シニアクラブ」に名称変更し、会員が1,494名（平成27年度）のクラブです。新しく東蓼沼（タテヌマ）西万寿会（会員44名）が設立されました。多数の会員が増え大変喜んでいました。が、過日開催されました総会時での会員数については、増えるどころか逆に減ってしまいました。

役員会議の中でも、会員の増減については常に話題の一つにのびります。皆様のクラブについてはどうでしょうか？教えていただきたいと思います。

私たちの上三川町シニアクラブでは、生活を健全で豊かなものにし、老人の福祉に資することを目的として「健康」「友愛」「奉仕」の三本柱を掲げて活動しているところです。

また、年二回の奉仕活動を会員全員で行ったり、



ランド・スポーツでは、輪投げ、グラウンド・ゴルフ、バタンクで特にグランド・ゴルフ、バタンクについて上三川町体育協会での組織も確立されている。昨年の県大会に於いての成績を問われると恥ずかしいのですが、今年はぜひ上位を目指して頑張つてまいります。輪投げについてはかなり盛ります。昨年は女性部組織を単独で実施し、多くの会員の参加をみました。

年寄り、年寄りといわれますが、プレーをしている時は10歳、いやそれ以上の若さを感じます。

一人暮らしだと話したくても話す相手がなく、お茶を飲んでもポツンとひとり、なんともわびしいではありませんか？クラブに入会し、多くの仲間と一緒に話したり行動し、老後の幸せを勝ち取りましょう。





## 「役員の力で 主体的な活動を」

那須烏山市いきいきクラブ連合会

会長 高田 博

烏山支部の規約に、三部会（地区長、女性部、体育部）が組織され、役員会等も常に三者合同で開催し、各部会より事業計画、内容等の説明があり、具体的に審議し、お互い協力し合って事業を進めています。その一部を紹介します。

（1）地区長部会（地域づくり）

各地区の協議会等により議題等が提案され、合同役員会等で具体策を検討し、会員増加及び単位クラブづくりに努めている。

年間事業の反省を兼ねた新年会を催し、意見交換及びカラオケ等、楽しい一時を設けている。

（2）女性部

（仲間づくり）

研修会等の企画運営を中心に計画し、合同役員会時に素案が作られ、会員に呼び掛けて多くの参加を得ている。昨年度は、日帰り研修会で足利学校、富岡製糸場を見学し研修を深めた。

（3）体育部（健康づくり）

四地区対抗の運動会を烏山体育館で、会員300名ほどの参加を得て、和やかな雰囲気で大に開催した。また、昨年度は県ペタンク協会に依頼しペタンク講習会を開催したり、グラウンド・ゴルフ愛好会への指導援助も行っている。

今後の課題として、役員はどのように企画運営をすれば、会員の意識の盛り上がり結び付くのが問題である。



## 「町シニアクラブ」

高根沢町「赤堀親睦会」

会長 長部 正信

赤堀親睦会の規約は、町シニアクラブ連合会の規約に則り、「健康・友愛・奉仕」の基本理念を掲げ、主に次の5つの活動をしています。

一、「赤堀夢楽劇団」の活動

平成22年12月に、会員有志で劇団を起ち上げ、老人福祉施設等へのボランティア慰問や、地区の敬老のつどい等に招かれ、ご好評いただいています。



ただいています。芝居・舞踊・懐メロ・講談・民舞等を披露していますが、逆にパワーを貰ったりして、毎回達成感を味わえることはこの上ない喜びです。

以前、町シニアクラブの集まりに出演した際、当時の会長から「我が町のシニアクラブの宝」と絶賛された時には、出演者一同、涙が出るほど感激しました。会長は、「何の娯楽もなく、夢も希望も失いつつあった終戦後、刈り取りを済ませた田んぼに舞台を作り、当時の青年団が演じてくれた『素人演芸会』を観ました。当時の老若男女には、一点の光明が灯り、生涯忘れられない思い出が脳裏に刻まれたことでしょう。そんな時代を思い出させてくれました。」とおっしゃってくださいました。

その他の活動は、次のとおりです。

二、赤堀集落センター周辺の除草・植木の手入れ等の奉仕活動

三、健康のため、町スポーツ大会への参加及び練習

四、学びあいのため、毎月1回の集いの日

五、向上心の喚起と会員相互の親睦のため、年3回の研修旅行等を行っております。

今後の取り組み課題として、60歳代シニアの会員増を図り、活力ある地域活動等会員相互の絆を深め、生きがい・喜びが実感できるような環境づくりを目指しております。

全老連「老人クラブリーダー中央セミナー」  
■参加者レポート

## 今こそ積極的に 仲間を増やし 地域づくりを

那珂川町老人クラブ連合会  
会長 小泉 哲也



六月二日(木)  
から二日間、東京  
府県指定都市老人  
クラブリーダー中  
央セミナーに参加してきました。

仲間を増やして地域づくりを  
テーマに、現在の取り組み状況を確  
認するとともに、実践事例や情報交  
換を通じて、目的達成に向けて研  
究、協議を行いました。

初めに厚生労働省老健局振興課か  
ら「介護保険制度をめぐる施策につ  
いて」改正の経緯と医療・介護提供  
体制の見直しに係る今後のスケ  
ジュールについて説明がありまし  
た。

特に老人クラブがこれまで実施し  
てきた友愛活動、健康づくり、介護  
予防活動の経験を生かして、市町村  
が行う新しい介護予防、日常生活の  
支援総合事業に地域住民とともに積  
極的に参画してほしいと強く期待を  
述べられました。まだ計画が実施さ  
れていないのであれば、委員として  
参加することも重要であるとのこと  
でした。

次に基調報告「老人クラブ組織の

発展に向けて」をテーマに老人クラ  
ブ「百万人会員増強運動(第三年  
次)」の推進について、特に今後の  
取り組み三点をあげられました。

一、単位クラブは、まず一人の加入  
を増

二、解散クラブの防止を！

三、未結成地域に新規クラブの立ち  
上げを！

次の分代会では、私は会員増強運  
動をテーマとした分代会に参加しま  
した。石川県・香川県・岩手県・栃  
木県の小グループで会員増強運動に  
焦点をあて話し合いました。老人ク  
ラブ活動の資料を持参しての勧誘、  
戸別訪問をしての勧誘、運動会への  
参加呼びかけなどの発表がありまし  
たが、加入者は少ないのが悩みと打  
ち明けられたところです。

私は、町の単位クラブが解散に追  
い込まれましたが、自治会の積極的  
な協力と新会長の働きかけで、半月  
で解散時十七名の会員が三十六名に  
倍増し、しかも六十歳代が半数以上  
入会した例を発表しました。また、  
あるクラブでは六十歳代全員が加入  
したことも注目されました。

やはり、老人クラブだけの加入  
増には限界がある。地域の協力がど  
うしても必要である、という認識で  
頑張ろうということでもありました。

この二日間、全国的に同じことで  
悩み、また将来に向けても希望を  
もって活動を推進しようという参加  
者の熱意を感じ、参加して良かった  
です。研修で学んだことを地域老人  
クラブで生かしたいと思っています。ま  
た、栃木県老人クラブのために。

# 老人クラブ会員向けに 3つの保険で安心補償

## 1 傷害保険 総合型

自分がケガをしてしまった時の保険です。

(他人に与えたケガは、対象になりません。)



例えばこんな時  
クラブ活動でゴルフの練習中に転んで膝を挫いてしまった。  
クラブ活動中だけでなく日常生活のケガも補償します。



例えばこんな時  
クラブ活動でゴルフの練習中に転んで膝を挫いてしまった。  
クラブ活動中とその往復送迎のケガも補償します。

対 象：老人クラブ会員なら、年齢制限もなく誰でも加入できます。(1人1口加入)

補償範囲：総合型と活動型の2種類

掛 金：(総合型) 一人掛金月額 10,000円、5,000円、3,500円

(活動型) 一人掛金月額 2,000円、1,000円、500円

お支払いする保険金：死亡・後遺障害保険金(後遺障害保険金はクラブ活動中のみ) / 入院保険金 / 手術保険金 / 通院保険金

保険期間：掛金払込み日の翌月1日から1年間

中途加入 所属の老人クラブを通して、1年中いつでも加入いただけます。

※ 相談先の電話番号は(関東・中部)に記されています。

## クラブの全会員加入が条件です。

## 3 老人クラブ活動専用 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険です。

(自分のケガは、対象になりません。)



例えばこんな時  
公民館の清掃中、玄関の電灯交換中に誤って、電灯カバーを壊してしまいました。



例えばこんな時  
クラブ活動のボールで相手の顔にボールをぶつけてしまい顔が腫れて頭がケガをさせてしまった。

補償範囲：○老人クラブ活動中の対人・対物(備品の損害補償(自動車等の所有・使用・管理に起因する事故は、対象外))

○管理下財物の盗難・紛失等

○初期対応費用・訴訟対応費用特約：支払限度額500万円(1事故)付帯

但し、各保険上の事故およびご自身のケガは対象になりません。

掛 金：クラブの全会員数×100円 [申込クラブの全会員数が30名未満の場合は、最低100円を払込みください。]

支払限度額：1億円 ※お支払いされる保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が算出したります。

保険期間：毎年10月1日(午後4時)～翌年10月1日(午後4時)までの1年間

申込方法：毎年9月15日までに賠償保険専用の掛金払込用紙(払込取扱票)で掛金を払込みください。

中途加入 加入時に会員名簿の提出は必要ありません。

中途加入 「新規加入のクラブ」および「会員の追加加入」が可能です。

・「新規加入クラブ」：毎月15日までに掛金の払込みで翌月1日からの加入となります。

但し、保険期間は直近の10月1日までとなります。

・「会員追加加入」：届出は不要です。掛金は加入年に限り必要ありません。



## 公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

加入申込書等、  
資料請求先

◆ 最寄りの市町村老人クラブ連合会に寄附しています。

◆ 不足の場合は市町村老連を通じて下記までご請求ください。

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先  
ご相談

受付時間 9:30から17:00まで(土、日、祝祭日、年末年始休)

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/>

老人クラブ傷害保険

メールアドレス [hoken@senior-ltd.com](mailto:hoken@senior-ltd.com)

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

この広告は、「老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険)」、「普通傷害保険」、「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険ご案内パンフレット」「概要・ご加入の際の注意事項」等をよくお読みください。詳細は、保険会社よりご契約者である団体の代表者にお渡ししております保険約款によります。ご不明な点等がありました場合には、全老連保険係または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。

# 市町老連会長及び事務担当者研修会が 開催されました



H28.6.9(木) [とちぎ健康の森]



平成28年6月9日(木)  
とちぎ健康の森大会議室  
において、平成28年度市  
町老人クラブ連合会長及  
び事務担当者研修会が開  
催され、午前10時から午  
後3時過ぎまで、県内各  
市町から40名が参加し、  
熱心に受講しました。

県老連黒田会長のあい  
さつの後、県高齢対策課  
堀内副主幹から、今年度の高齢者の生きがい対策を  
中心とした施策と介護予防・日常生活支援総合事業  
について、県老連白根沢局長から県老連の今年度の  
事業、「一万人会員増強運動」、新地域支援事業へ  
の取り組み等についての説明がありました。午後  
は、会長グループは「新地域支援事業への老人クラ  
ブの取り組み」、事務担当者グループは「日常活動  
における問題点と解決策」をテーマに討議、情報交  
換をしていただきました。

主な意見として、会長グループでは、

○老人クラブでは、すでに実施している活動なの  
で、新地域支援事業として体型づけければ良い。

○支えられる側から支える側になり、高齢者の社会  
参加が進む。

○現在実施している活動を含め、更に充実した活動  
の展開が必要。

○行政との接点をより明確にし、行政からの支援や  
協力が大切。

○シルバー大学卒業生には積極的に老人クラブに  
加入してもらい、リーダーとして活躍してもらい  
たい。



事務担当者グループでは、  
○各単位クラブを訪問して話  
を聞き、顔の見える関係を  
つくるようにしている。

○市社協で実施しているボラ  
ンティアポイント制を活用  
するため、新しい老人クラ  
ブを立ち上げたところがあ  
る。

○行事の際、高齢者同士の送  
迎で集まっているが、運転  
できる方が減り、活動が難  
しくなっている。

○町老連会長が商店街と交渉  
し、老人クラブ会員証を見  
せると割引等の特典が受け  
られるようになった。



※討議結果から、「新地域支援  
事業」に取り組むには、すでに  
行っている活動をベースに、充  
実させていく必要があり、その  
際には行政との積極的な連携が  
重要であること。



老人クラブが支える側になる  
ことで、社会参加が進み、地域  
でもぜひ必要な組織との認識が  
高まり、会員確保にもつながる  
のではないかと考えられました。

また、担当者グループでは、様々な業務を担当しなが  
ら、老人クラブの抱えている問題をどう解決するか真剣  
に討議していただきました。



# 関ブロ老人クラブリーダー研修会の詳細報告



黒田県老連会長のあいさつ



増田全老連副会長のあいさつ

この研修会は、関東甲信越ブロック内の16都県政令市が持ち回りで開催しているもので、本県が担当県として研修会を主催したのは、平成12年以来16年ぶりのことです。

研修会は、司会担当の県老連鈴木康子副会長の開会の言葉で始まりしました。

開会式では、まず主催者を代表して、全国老人クラブ連合会副会長で、関東甲



会場風景



近藤保健福祉部長の祝辞

信越静ブロック老人クラブ連絡協議会会長でもある、増田時枝東京都老連会長があいさつを行い、続いて、主催県である黒田盛男栃木県老連会長のあいさつが行われました。

来賓としてお招きした栃木県知事の代理、近藤真寿保健福祉部長から、超高齢社会を見据えた老人クラブ活動への期待を込めた祝辞をいただきました。

## 基調報告

開会式に引き続き、全老連河野参事の基調報告が行われ、社会の高齢化進行の最新情報、高齢者をめぐる社会経済情勢の変化の現状等についての詳細な報告がなされました。また、地域社会の高齢化を見据えた今後の老人クラブ活動の方向性についても、わかりやすく説明がなされました。



報告をする河野参事

## 老人クラブ組織の発展に向けて

### — 全国運動、行動提案等 —

全国老人クラブ連合会 参事 河野 敦子

#### 1. 高齢者を取り巻く社会情勢

##### (1) 高齢者の状況

① 高齢者人口  
2025年、団塊世代が75歳以上になり高齢化率が30%を超える。

② 75歳以上人口の推移

地域により状況が異なり、特に都市部で急速に増加する。

● 地域ごとの増加

倍率《2015年→2025年》

年

(1位) 埼玉県1.54

倍(11位) 東京都1.34

倍(47位) 山形県1.09

③ 世帯

世帯主が65歳以上の単独世帯や夫婦のみ世帯が増加する。

全人口に占める割合

|         | 2015年 | 2025年 | 2055年 |
|---------|-------|-------|-------|
| 65歳以上人口 | 26.8% | 30.3% | 39.4% |
| 75歳以上人口 | 13.0% | 18.1% | 26.1% |

● 全世帯に占める割合

(2015) 23.1% ↓

(2025) 25.7% ↓

(2035) 28.0%

④ 認知症高齢者の将来推計

2012年の462万人が、2025年には700万人に増加する。

● 65歳以上に占める割合

(2012) 15% ↓

(2025) 20%

⑤ 要介護度(要支援)認定者数の推移

軽度の認定者数が増加している。

● 認定者数

(2000) 218万人 ↓

(2013) 564万人(2.59倍)

● 内、要支援・要介護1

(2000) 84.2万人 ↓

(2013) 259.6万人(3.08倍)

● 認定者数に占める要支援・要介護1の割合

(2000) 38.6% ↓

(2013) 46.0%



## (2) 介護保険法の改正

## ○地域包括ケアシステムの構築

重度な要介護状態になっても、住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることをめざした仕組みづくり。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に構築。

## ○新地域支援事業(平成27年4月)

全国一律であった要支援者に対する訪問介護・通所介護が、市町村が行う新地域支援事業に移行される(平成29年度までに移行)。

## (3) 高齢消費者被害の深刻化

○昨年度の振り込み詐欺等特殊詐欺の被害総額は約477億円(13,828件)

○65歳以上の被害件数(10,605件)は全体の76.7%(前年比2.3%減)

○オレオレ詐欺、還付金詐欺被害者の9割以上は高齢者

## 2. 老人クラブとしての運動・行動提案

(1) 老人クラブ「100万人会員増強運動」(第3年次)の推進

○運動1年次・26年度の状況

・目標 全国19万人増加↓

結果 約17万人減少

・会員が増加した老連

都道府県・指定都市老連…神戸

市老連

市区町村老連…298老連(16%)、

増減なし46老連(2%)

## ・新規会員の状況

年齢別 高齢会員36%

若手会員64%

男女別 男性会員43%

女性会員57%

## ○今後の取り組み

1 単位クラブはまずはあと1人の加入増を!

平成26年度老人クラブ実態調査…年間0.6人会員減少

2 解散クラブの防止を!

3 未結成地域に新規クラブの立ち上げを!

(2) 新地域支援事業に向けての行動提案

老人クラブがこれまで実施してきた「友愛活動」、「健康づくり・介護予防活動」の経験を活かして、市町村が行う新地域支援事業に地域住民と共に参画しよう。

●老人クラブ活動を通じて地域で高齢者の在宅生活を支える

●老人クラブへの期待(全老連から取り組みへの行動提案)

(3) 老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーンの推進

「見守りサポーターで、地域の高齢者を守ろう」

(推進期間…H26～H28)

●単位クラブに「見守りサポーター」の設置

●関係機関、団体と連携した活動の展開

## 3. 老人クラブ補助金の活用

●平成28年度の国庫補助金…26億

3,000万円(H27から8,000万円減額)

●国庫補助金の仕組みを理解・認識して、補助金の確保・増額を図り、老人クラブ活動を発展させよう。

## 4. よりよい単位クラブ活動のために

(1) リーダーの基本的な3つの留意事項

①活動の記録保存と継承

②会計の透明性

③会員の安全対策

(2) 情報、教材、会員章

①情報の提供

②活動教材の活用

③老人クラブ会員章の着用

## 分科会

基調報告後の分科会方式の研修では、テーマ毎に4つの分科会に分かれ、それぞれのテーマについて、2つの事例発表をもとに熱心に意見交換が行われました。

各分科会において、司会者、事例発表者、記録者、幹事を引き受けていただいた各都県市老連の皆さんによるスムーズな進行と運営により、大変有意義な分科会となりました。

それぞれの分科会での事例発表に対する質疑や意見等の状況については、翌日の全体会において、副司会者を務めていただいた都県市老連事務局長から報告がありました。

## ■第1分科会

## 「仲間を増やす活動の推進」

①活き活き猿沢長寿会

(新潟県)

〈発表者〉

村上地域老連 朝日地区協議会

副会長 高橋達男氏

②桜ことぶきクラブ「ちょびつとお助け隊」(山梨県)

〈発表者〉

山梨県中央市桜ことぶきクラブ

会長 中村一良氏



## ■第2分科会

## 「健康づくり・介護予防活動の推進」

①鬼石モデル・筋力トレーニング実践して



### ■第3分科会

#### 「地域支え合い活動の推進」

①心の通う「健康、友愛、奉仕」の活動で支え合うまちづくりを目指して(栃木県)

〈発表者〉

宇都宮市老連 みどり野長寿会  
会長 小野口乾二氏



②田島老人クラブ・健康ウォーキング推進(川崎市)

〈発表者〉

川崎市老連 小田四丁目第一老人クラブ  
会長 河村秋孝氏

「スキーをしても「もも」が痛くならない」(群馬県)

〈発表者〉

群馬県老連  
副理事長 桑原幸夫氏

②島田市いきいきクラブ連合会の友愛ネットワークづくり(静岡県)

〈発表者〉

島田市いきいきクラブ連合会  
副会長 田口正行氏

### ■第4分科会

#### 「若手高齢者の力を生かす活動の推進」

①若手高齢者の力を活かす活動の推進(茨城県)

〈発表者〉

坂東市新町シニアクラブ  
会長 倉持萬吉氏

②若い力でクラブに活力を!

〈発表者〉

千葉県老連  
若手委員長 鵜澤 功氏



### 表彰式

2日目の表彰式では、本県から、県老連の小島正男理事、古川榮光前理事、橋本正前理事の3名が育成功労者として表彰されました。小島理

事は、被表彰者総代として増田会長から表彰状の授与を受けました。

#### ★関東甲信越静ブロック連絡協議会

長表彰受賞者(写真左から)

小島 正男 鹿沼市老連会長  
古川 榮光 小山市老連前会長  
橋本 正 下野市老連前会長



### 講演

#### 世界遺産「日光」その謎と魅力

日光市天台宗観音寺住職・栃木県立博物館名誉学芸員

千田 孝明氏



講演する千田先生

公東照宮鎮座400年という節目の年であることを背景に行われた千田先生の講演では、1250年前の勝

### 懇親会スナップ

初日には、懇親会がありました。各都県市1つの出し物で大いに盛り上がり、本県は船村徹氏の名曲「別れの一本杉」を参加者有志で熱唱しました。アトラクションとして披露された地元鬼怒川温泉の郷土芸能「龍王太鼓」も好評でした。

アトラクション「龍王太鼓」



本県の出番「別れの一本杉」

### 閉会

閉会式では、次回開催市である千葉市老人クラブ連合会の藤森清彦会長からあいさつがあり、最後に、黒田栃木県老連会長の閉会あいさつですべてのスケジュールが終了しました。



熱心に聴き入る参加者

興味深い話を伺うことができ、歴史に興味を持つ多くの参加者が熱心に話に聴き入っていました。

道上人による日光開山の歴史、また400年前の東照宮造営と家康公鎮座の歴史について、古文書や地図など貴重な歴史的資料をもとに実に





# 高齢者交通安全 ミニ白書

栃木県警察本部交通企画課

平成28年6月号

横断するときは「左からの車」に注意！  
～今年に入り、道路横断中に7人が死亡～

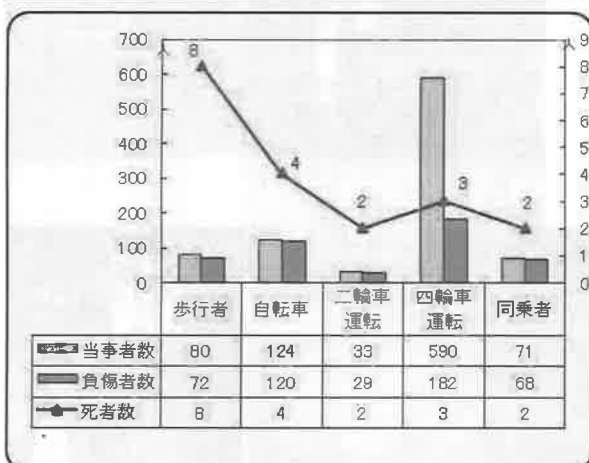
## ◇県内の交通事故発生状況（平成28年5月末）

| 区 分  | 全 交 通 事 故    | 高 齢 者 事 故  | 高齢者<br>構成率 |
|------|--------------|------------|------------|
| 発生件数 | 2,278件(－272) | 749件(－103) | 32.9%      |
| 死者数  | 36人(－3)      | 19人(－5)    | 52.8%      |
| 負傷者数 | 2,817人(－384) | 471人(－48)  | 16.7%      |

※（ ）内は前年比



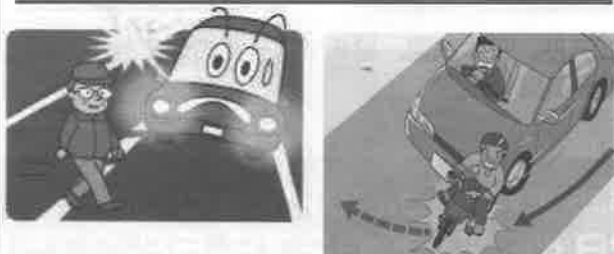
## 高齢者交通事故状態別発生状況（5月末）



## 高齢者交通死亡事故の特徴

- 昼夜別では、昼間に12件、夜間に7件発生しており、夜間の7件中、横断歩道以外の道路を横断中が6件となっている。
- 曜日別では、日曜・金曜に5件、水曜3件、月曜・土曜2件、火曜・木曜に1件発生している。
- 横断歩行中に亡くなられた7人のうち5人が、自宅から1キロメートル以内で「左からの車」と衝突している。

## 歩行者・自転車利用者に多い事故事例



道路の横断は車の通過を待ってから！

## 5月中の高齢者死亡事故発生状況（5件5人）

|                                             |                                                      |  |
|---------------------------------------------|------------------------------------------------------|--|
| 5/11(水)<br>19:31 曇<br>那須塩原市<br>主地道<br>75歳男性 | 直線道路で、普<br>乗が道路を右から<br>左に横断中の歩行<br>者と衝突。<br>※左からの車   |  |
| 5/15(日)<br>17:54 晴<br>足利市<br>県道<br>87歳男性    | 直線道路で、進<br>行中の自転車に普<br>乗が衝突。                         |  |
| 5/18(水)<br>10:03 晴<br>那珂川町<br>国道<br>80歳女性   | 十字路交差点<br>で、普乗と自転車<br>が出会頭に衝突。                       |  |
| 5/20(金)<br>13:00 晴<br>栃木市<br>県道<br>69歳女性    | 直線道路で、普<br>乗が対向車線に進<br>出し、駐車中の車<br>両に衝突。             |  |
| 5/21(土)<br>13:20 晴<br>鹿沼市<br>国道<br>66歳男性    | 変形交差点で、<br>右折した普乗が右<br>から左に横断中の<br>歩行者と衝突。<br>※左からの車 |  |

夜の道、光って知らせるすぐれもの。

## 夜間は反射材を身につけましょう

夜間、車から歩行者が見える距離





## 寄稿

## わが地区百寿会の“花一杯運動”

とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会・栃木支部  
第8地区・大宮地区百寿会連絡協議会

会長 大川 洋 右

平成11年度から先輩が残してくれた、わが地区の“花一杯運動”事業が、今年で第18回目を迎えました。本年度は、去る5月28日（土）役員の皆さん（7クラブ・12名）の協力での作業は無事に終わりました。

わが地区の百寿会クラブの活動拠点である「大宮地区公民館」の花壇・プランターの“花苗の植替え”で環境美化と、公民館に來られる皆さんが、少しでも気持ち良く来館・利用できるよう、私たちが協力しようと立ち上がった事業です。

花苗は、毎年「県立栃木農業高校」の協力を得て、格安で購入しております。培養土・プランターは、必要に応じて補充し、役員の皆さんが和気あいあいと植え付け作業などを行っております。

今年はベゴニア苗を200鉢購入しました。これからの季節、公民館来館者に玄関口で見事にきれいな花を見せてくれることを大いに期待しております。

当地区連絡協議会が、毎年いろいろな事業を実施できるのも、何事にも公民館職員の皆さんが全面的に気



持ち良く協力してくれるからで、この事業も公民館と私たちとのコミュニケーションの一つであると私は誇りにしています。

この事業を、これからいつまでも続けられるよう、後輩の方々に残すために、節目の20回目を迎える2年後の平成30年度には、何か記念になる行事を皆で考えたいと思います。